



まず、学校教育施設であります
が、蒲郡北部小学校の体育館の大規模改造を行ってまいります。また、既設プールについても順次改修を進めるなど、今後も学校教育環境の整備充実を図ってまいります。
高度情報化社会に対応するための学校教育の一環として、8年度の西浦小学校に引き続き、蒲郡東部、蒲郡南部及び竹島小学校にコンピュータを導入し、情報教育を推進してまいります。
生涯学習につきましては、「生涯学習のまち蒲郡」の実現を目指し、諸施策の推進に努めてまいります。総合・専門講座などの市民大学をはじめ、各種教室等を開設するとともに、全公民館へのファックス設置及び勤労青少年ホームにパソコンを導入し、地域に開か

れた学習の場となるよう努力してまいります。

海辺の文学記念館につきましては、本年5月11日にオープンし、本市に縁のある文学的、歴史的資料等を展示して、一般に公開してまいります。

次に、体育の振興であります。心身の健康の保持にスポーツの果たす役割は重要であり、すべての市民がスポーツを楽しめるよう施設を整備し、スポーツの普及振興に努めてまいります。

海陽町地内で整備を進めております芝生広場は、半年ほどの養生期間を置いた後、市民の皆様が気軽に憩い、楽しんでいただく多目的広場として、一般に開放してまいります。



次に、福祉施策
であります。すべての人々が健康で生きがいを持ち、楽しく安心して生活できる「福祉社会」の実現に力を注いでまいります。

まず、高齢者福祉であります。市内3番目の「三谷デイサービスセンター」を4月に開設します。また、形原地区には、市内の社会

福祉法人が、平成11年4月の開所を目指し、デイサービスセンターやケアハウス等を併設した特別養護老人ホームの建設に着手します。また、これを支援してまいります。また、貸出用特殊寝台の充実、緊急通報用電話機の増設及び老人住宅整備資金利子補給補助金制度の充実など、在宅高齢者福祉の向上に努めてまいります。

昨年8月に産声をあげました在宅福祉サービス「ふれあい蒲郡」

は、多くの市民の皆さんのご支援により順調に育ちつつありますが、独り立ちできるまで引き続き物心両面から支援してまいります。

次に、障害者福祉
であります。公平・平等の観点から、精神障害者が身体障害者や知的障害者と同じ福祉サービスが受けられるよう

に、国や県に働きかけていくとともに、新たに、市障害者扶助料の受給対象者に精神障害者を加えるなど、充実を図ってまいります。また、本市の障害者福祉のガイドラインともいうべき障害者計画を策定してまいります。

児童福祉対策につきましては、乳児保育及び延長保育を拡充するとともに、みどり保育園内に子育て支援センターを開設して、育児不安等についての相談指導や、子育てサークル等への支援をしてまいります。

また、がまごおり・かたはら児童館に続き、4月にみや児童館を開設し、児童福祉施策の充実を図ってまいります。

次に、保健事業であります。9年度から、妊婦、乳幼児及び3歳児健康診査、歯科健康診査及び予防措置事業など母子保健の事務事業が、県から市に移譲されることに伴い、妊娠、出産、育児及び乳幼児保健に至るまでの一貫した保健サービスの提供に努めてまいります。

高齢期での歯の喪失予防及びねたきりの要因の一つであります骨粗鬆症の予防のために、歯周疾患検診及び骨粗鬆症検診制度を創設してまいります。

次に、新市民病院であります。工事も順調に進み、移転準備を整え、本年10月10日に待望の開院の運びとなります。地域の中核病院として、かつ公的医療機関として市民の健康を守り、医学の進歩に即応して、良質かつ適切な医療の効率的な提供を行うなど、患者サ